

# 新型コロナウイルス感染症への対応 制作(取材)対応ガイドライン(感染防止)

2021年10月1日 —Ver.2—

## 【策定の目的】

- ・取材対象者及び番組制作関係者・制作スタッフの感染予防
- ・新型コロナウイルス感染症に関する情報発信の強化

## 資料の目次

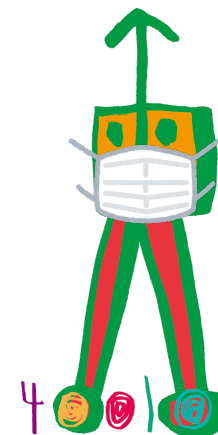
1. 制作(取材)業務に対する考え方
2. 独自に定める番組制作対応の目安
3. 参考資料(高知県のステージ)

公益財団法人四万十公社

**四万十ケーブルテレビ**

**SHIMANTO CABLE TELEVISION**

コンテンツ制作課



## 【四万十ケーブルテレビ 取材活動・制作業務について】

- 感染防止のため取材活動の一部を自粛させていただく場合があります
- 行政機関(特に高知県や四万十町)が出す対応方針に基づき業務を遂行します
- スタッフは毎朝、検温を行います
- 「県外」「県内の感染拡大地域」から来町した方への取材は適宜判断して行います

①日本の感染状況 ②県の対応ステージの状況 ③四万十町役場の対応方針

④PCR検査実施の有無 ⑤継続的な検温実施の有無 ⑥来県後の滞在(外出自粛)期間

等を総合的に判断して取材の可否を決定します

取材をお断りする場合がありますことを予めご了承ください

- 原則、町外での取材活動は行いません
- リモート(オンライン)取材を推進します(オンラインでのインタビュー等)
- 共有物の適正な管理・消毒を徹底します(スタジオ・編集機材・取材車両等)
- スタッフは公私ともに「新しい生活様式」の実践に務めます
- 次ページに対応目安を示しますが当ガイドラインに定めていない事柄については政府・県・町が発出する要請等に準じて適宜対応します

四万十ケーブルテレビが独自に定める対応の目安（上段:参考資料 下段:独自指針 番組制作部署）

県ステージ	感染観察	注意（黄）	警戒（オレンジ）	特別警戒（赤）	非常事態（紫）	
国ステージ	I 散発的発生		II 漸増		III 急増	IV 爆発的拡大
外出	3密 回避徹底		ガイドラインが遵守されていない酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	夜間や酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	昼夜を問わない不要不急の外出自粛の検討・実施	
休業要請等	-	-	-		一定の業種の休業・時短要請の検討・実施	
会食	感染対策に留意	規模縮小・時間短縮	小規模グループ かつ短時間で	家族以外での会食を控える		
イベント等	国の基本的対処方針・ガイドライン等に基づき対応			開催・参加の再検討		開催・参加自粛
県立施設	開館		-		屋内施設休館を検討	休館
業務共通事項	新しい生活様式の実践 ■毎朝の検温 ■マスク着用 ■アルコール消毒		行政機関発表の情報に留意して適宜行動		スタジオへの立入制限 ※施設見学 ※業者等 緊急性を有するものを除く	複数人で収録する場合、 キャスター・アナウンサー は、収録時もマスク着用
ニュース	(業務共通事項に留意)		・感染症対策が取られていない施設での取材自粛		・屋内取材の可否を検討 ・感染拡大地域から来た人への取材は原則自粛(PCR検査実施者については慎重に判断)	・屋内取材は原則自粛 ※緊急性の高い取材・新型コロナに関する取材は可能 ・県外/県内の感染拡大地域在住者への取材自粛
企画			今後の取材先の精査 ステージが(赤)(紫)になった場合の代替案の検討		人物を対象とした企画番組取材を原則休止 (人物紹介・サークル・事業所紹介等) ※ただし無観客イベントの収録放送等、公益性があるものを特別番組として扱う場合は万全な対策を講じて行う	
その他	・新しい生活様式の啓発		・感染者、医療従事者等への差別防止の呼びかけ		・ニュース冒頭でコロナ関連の情報を分かりやすく伝える ・自粛生活の中で楽しんでもらえる番組づくりに努める	

県の資料より抜粋

四万十ケーブルテレビ指針

# 参考資料

## 高知県における新型コロナウイルス感染症対応の目安 (令和2年12月2日時点)

判断指標 ※1	ステージ	感染観察 (緑)	注意 (黄)	警戒 (オレンジ)	特別警戒 (赤)	非常事態 (紫)
	直近7日間の新規感染者数	0～3人	4人以上	14人以上	105人以上	175人以上
	最大確保病床の占有率	10%未満		10%以上	20%以上	50%以上
対応方針	共通事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 「新しい生活様式」等の実践 (例) ・身体的距離 (1～2 m) の確保 ・マスクの着用 ・手洗いや手指消毒</li> <li>・咳エチケット ・こまめに換気 ・公共交通機関では会話は控えめに</li> <li>・食事は大皿は避けて料理は個々に ・大声での会話や「献杯・返杯」は避けて</li> <li>・テレワークやローテーション勤務 ・オンライン会議の推奨</li> <li>□ 各店舗における適切な感染対策の徹底</li> </ul>				
	国の分科会のステージ区分	I 散発的発生		II 漸増	III 急増	IV 爆発的拡大
	外出	「3密」の徹底回避		ガイドラインが遵守されていない酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	夜間や酒類を提供する飲食店への外出自粛の検討・実施	昼夜を問わない不要不急の外出自粛の検討・実施
	休業等の要請	—	—	—	一定の業種 ※2 の休業、営業時間短縮の要請の検討・実施	
	会食	(共通事項に留意)	可能な範囲で規模縮小・時間短縮を	小規模グループかつ短時間で	家族以外での会食を控える	
	イベント等	(国の基本的対処方針、ガイドライン等に基づき対応)			開催・参加の再検討	開催・参加自粛
	県立学校	各福祉保健所管内の感染状況等を踏まえて判断 ※3				
	県立施設		開館		屋内施設の休館を検討	休館
	他県との往来	全国の感染状況と感染拡大のリスク等を踏まえて判断				

※1 判断指標については、①全療養者数 (特別警戒：105人以上)、②最大確保病床の占有率、③直近7日間の新規感染者数、④直近1週間と先週1週間の新規感染者数の比較、⑤感染経路不明割合 (特別警戒：50%)、⑥PCR陽性率 (特別警戒：10%以上) の6つの指標をもとにして、ステージを総合的に判断する。また、患者の発生が一部の地域に限定される場合は、当該地域のみを「注意」「警戒」とするなど、地域の実情に応じて柔軟に判断することがある。

※2 休業等を要請する「一定の業種」については、県内の感染事例や国の基本的対処方針等を考慮して決定するものとする。

※3 県立学校については、文部科学省の「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」に基づき、福祉保健所管内の感染状況等を踏まえた県教育委員会独自の基準に基づき、休業等を判断するものとする。

高知県公表の  
対応目安

高知県HPより